

科目名	金融論	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	牧野 智一		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-01-A-1-110020		国際学部C：新潟の地域社会にあつて学術的素養を日々に活かす方法をたえず探索する強い意欲をもち、これを具体化していくための社会関係構築能力を獲得していること		
授業の目的	金融論とは、貨幣に関する様々な経済現象について考える学問である。金融というと銀行などの金融機関を想像すると思われるが、金融論では企業活動や私たちの生活に貨幣が及ぼす影響や日本銀行（中央銀行）が実施する金融政策の効果について理論を中心に学んでいく。本講義の最終的な目的は、金融に関する理論について身につけた上で、実際に日本で実施される金融政策が私たちの生活や社会に及ぼすであろう影響を自らの判断で考察する能力を養うことである。				
学修到達目標	金融の理論的知識を習得することと金融政策の効果と現状について考察できる能力が身に付くことを目標とする。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	イントロダクション
第2回	貨幣の役割
第3回	貨幣の定義

第4回	貨幣と物価の関係
第5回	単利と金利
第6回	名目利子率と実質利子率
第7回	利子率と債券価格
第8回	信用創造メカニズム
第9回	金融政策の手段①（伝統的政策手段）
第10回	金融政策の手段②（マイナス金利）
第11回	貨幣市場の分析①（貨幣供給）
第12回	貨幣市場の分析②（貨幣需要）
第13回	金融政策の効果の分析①（短期：IS-LMモデル）

第14回	金融政策の効果の分析②（長期：貨幣数量説モデル）
第15回	まとめ
第16回	テスト

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。各回の授業内容のテーマについて、参考書などによって各自で調べておくこと。
【復習】時間・内容	2時間。授業内容の復習と不明点の整理。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験（70%）、授業の参加意欲（30%）を合わせて総合的に判断する。
フィードバック方法	試験結果の点数分布や平均点などをポータルにて公表し、講評を加える。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	

教科書/参考書	家森信善(2016)『金融論(ベーシック+)』中央経済社
受講上の留意点等	新聞やテレビなどにより経済関係のニュースに関心を持ち、講義内容が自分たちに深い関わりがあることを理解して講義に臨むこと。
JABEE	